

まつやまの下水道



松山市下水道
イメージキャラクター
「かめまるくん」

お問い合わせ

下水道部下水道サービス課
普及啓発担当
松山市二番町四丁目7-2
TEL:(089)948-6898
FAX:(089)934-1981

～安全で快適な暮らしを守り、美しい環境を未来へつなぐ下水道～

普段はあまり目にする事のない下水道。今回は、ご家庭の風呂やトイレから出た汚れた水をきれいにする「汚水」処理の役割と、大雨による浸水から街を守る「雨水」排除の役割をご紹介します。

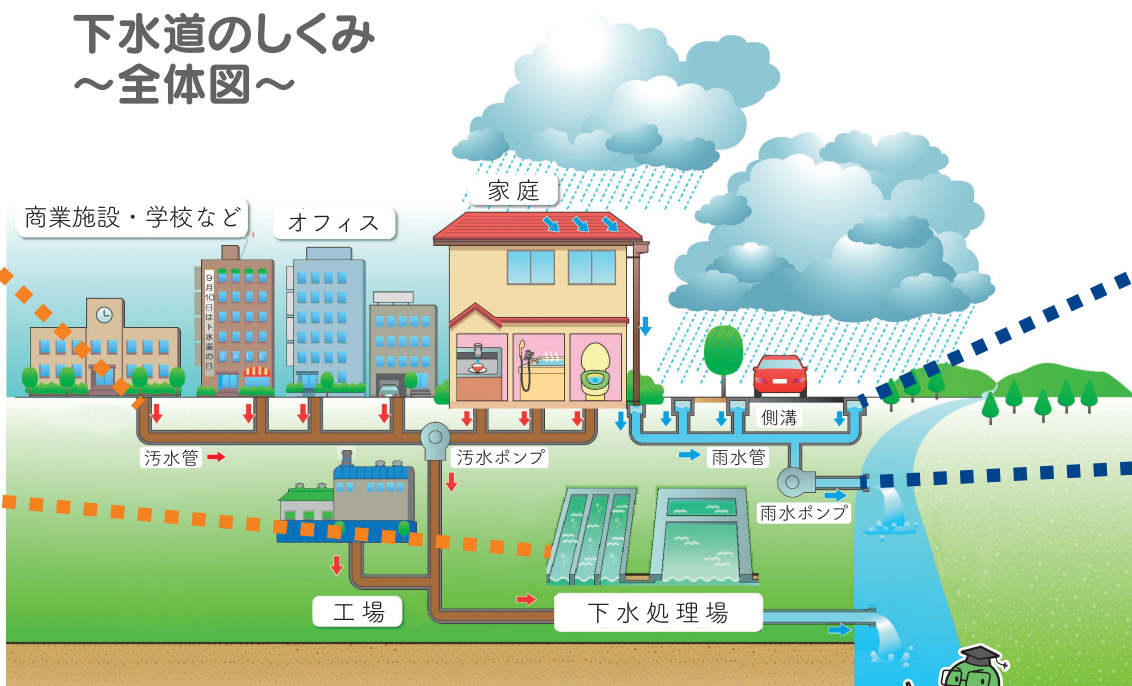
「汚水」

汚水をきれいにし、川や海の水質を改善させます。



家庭や工場から出た汚れた水は下水道管を流れ、処理場できれいな水に処理されて川や海に放流されます。

下水道のしくみ ～全体図～



「雨水」

雨水を排除し、浸水被害を軽減します。



雨水は、地表面などから雨水管を通り、川や海へ放流されます。また、自然排水が難しい土地では、ポンプを使って川や海へ排水しています。

汚れた水をきれいにする処理場のしくみをご紹介します



①沈砂池ポンプ棟

汚水中の大きなゴミや砂を取り除き、地上に汲み上げます。

②最初沈殿池

細かいゴミを沈め、取り除きます。

③反応タンク

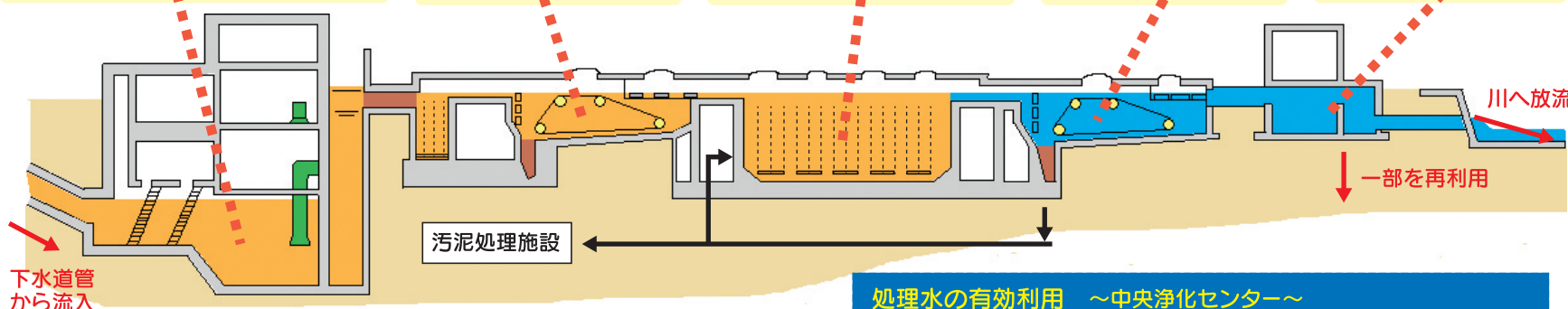
活性汚泥により、さらにきれいな水にします。

④最終沈殿池

きれいな水と活性汚泥に分けます。

⑤消毒タンク

処理した水を消毒します。



活性汚泥(かっせいおでい)とは ～反応タンクで働く微生物～

バクテリアや原生動物のような微生物の集まりを活性汚泥といいます。この活性汚泥に空気を吹き込むと、活性汚泥はどんどん汚れを食べ、水をきれいにします。



処理水の有効利用 ～中央浄化センター～

きれいになった処理水を用水施設でさらにろ過して、松山市総合公園の散水や浄化センター内で再利用しています。

下水処理場は見学できます。見学をご希望の方は、下水浄化センター(TEL:089-922-2855)までお問い合わせください。

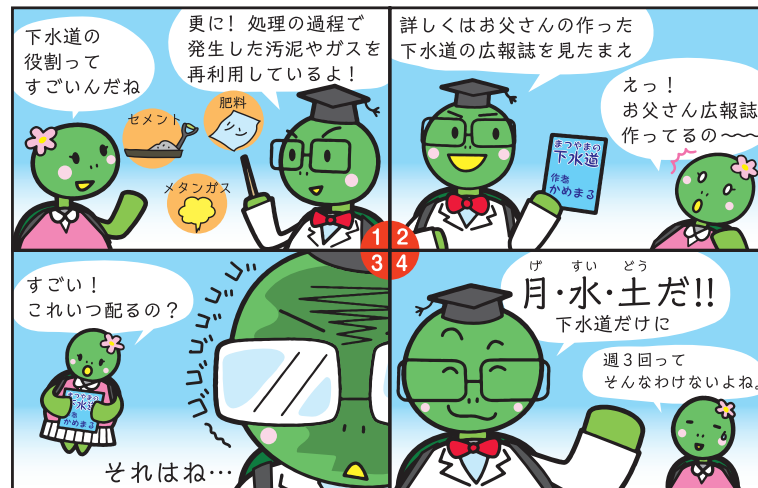
この記事は松山大学の学生の皆さんと一緒に作成しました。

今回、処理場見学や災害用トイレ設置訓練などに参加し、私たち学生が「知りたい」「伝えたい」と思った内容を職員の方と話し合い、誌面を作成しました。この記事を通じ、市民の皆様が下水道のことを少しでも伝えることができれば嬉しいです。

また、下水道を身近に感じてもらうよう右の漫画も考えてみましたので、是非読んでみてください。



処理場見学 災害用トイレ設置訓練



※毎週は発行しません。